

政務活動報告 (行政視察)

令和5年10月18日～20日

新風天草(濱洲大心・前田正之)
中尾友二・若山敬介・竹本亨・吉田修

■視察先・視察内容

- ・旭川ICTパーク(北海道旭川市)
ICTを活用したにぎわい創出と人材育成について
- ・ココルクえべつ(北海道江別市)
ココルクえべつの経営状況等について

視察報告

旭川市に開設されている旭川ICTパークにおいては、ICTを活用したにぎわいの創出・高度な人材育成を図られていました。主に、eスポーツの楽しさを仲間と共有するトレーニングジムや劇場型のイベントスペースを完備しているスタジアムを視察しました。

生涯活躍のまちである江別市では、地域交流拠点ココルクえべつを訪問。同施設では、障がい者と健常者が手を携えながら働ける就労施設や官民連携した新たなにぎわいの創出が行われていました。



視察を終えて

eスポーツを活用し、楽しみながらICT技術を気軽に学ぶ環境は非常に魅力的であると感じました。本市においても、小・中学校においてタブレット端末を活用した学習環境を整備していますが、より高度な人材育成を目指した政策提言を行っていききたいと思います。

また、本渡港周辺環境整備などが議論される中、官民連携のあり方を具現化したココルクえべつの事例を参考に議論を行っていききたいと思います。

政務活動報告 (行政視察)

令和5年8月2日～4日

政友会(平山泰司・浜崎昭臣・船辺修・柴田誠・門口徹)
竹本亨・赤城史浩

■視察先・視察内容

- ・愛媛県今治市
今治市クリーンセンター(バリクリーン)について
- ・愛媛県松山市
カンガ(工)ルーカフェについて

視察報告

今治市クリーンセンターは、ごみの焼却時の発生熱を利用して発電し、施設全体及び隣接する公共施設等へ供給するとともに、余剰電力は売却されていました。

また、焼却灰の一部はセメント原料として再利用されており、防災拠点機能等も兼ね備えた施設でありました。

松山市では、ライフステージに応じた情報をインターネットで一元化したスマートフォン対応のカンガ(工)ルーカフェを構築し、いつでもどこでも情報が得られる取組をされていました。



視察を終えて

住民から歓迎されるクリーンセンターとなるよう、国の基準よりさらに厳しい公害防止基準を設定して施設建設を行うなど、現在取り組まれている内容は、天草広域連合で計画されている新ごみ処理施設建設にとっても大変参考になるものでした。

また、IT技術の発展によりDX化が進んでいる中、本市においても子育て世代のニーズに合った支援策が必要であり、今後はウェブサイトなどを活用した子育て情報の発信等は検討すべきであると感じました。

政務活動報告 (行政視察)

令和5年11月15日～17日

市民クラブ(下田昇一郎・五嶋善彦・澤井一富・浦本力)
吉田修

■視察先・視察内容

- ・高知県四万十町
移住定住政策について
地域おこし協力隊の活用について
- ・愛媛県八幡浜市
果樹(柑橘)振興策について
移住定住施策について

視察報告

四万十町では、人口減少対策として移住定住の促進を捉えられ、急激な人口減少を少しでも緩やかにする取組として、中間管理住宅やクラインガルデン(宿泊施設付貸し農園)などの支援事業を実施されていました。

全国有数の温州みかんの産地である八幡浜市では、新規就農に関する様々な補助制度や実践研修、就農後の手厚いサポートのほか、労働力不足を解消・改善するため、JAと連携してみかんアルバイト等確保支援事業を実施されていました。



視察を終えて

急激な人口減少に対応するには、さらなる移住者の増加が望まれます。移住者倍増を目指すためには、本市においても制度の改革や体制の充実など、新たな展開、事業の拡充が必要と感じました。

また、農業者の高齢化による労働力不足対策としてJAと連携して取り組まれていた「みかんアルバイト等確保支援事業」は、今後の農業振興策としても大変参考になるものでした。

政務活動報告 (行政視察)

令和5年10月18日～20日

天政会(勝木幸生・鶴戸継啓・鯖江達朗)

■視察先・視察内容

- ・秋田県湯沢市
未来投資型人材育成事業について
- ・秋田県横手市
よこて農業創生大学校事業について

視察報告

湯沢市では、若者が地元への愛着を形成するきっかけづくりとして、各家庭から送付する仕送りの送料を市が負担。また、市出身の大学生向けイベントの開催や、ふるさとdeまんぷく支援事業など市内飲食店での食事に対する支援制度等を創設されていました。

横手市では、廃校を活用し整備した横手市園芸振興拠点センターを運営し、就農を目指す研修生の受入れ、農業を営むための農地確保の支援のほか、地元の農産物を使用した新商品開発等に対する六次産業化支援を実施されていました。



視察を終えて

人材育成も定住促進にも人への投資が必要ということを感じました。地域性や課題もあるとのことでしたが、本市においても高校卒業後進学や就職で地元を離れる若い世代が多いことから、若者の地元への愛着を形成するための本市独自の未来投資が必要と考えます。

また、本市においても担い手等の補助事業はありますが後継者育成、商品の研究、販売まで、官民一体となって天草の農業振興を考えていかなければならないと感じました。